

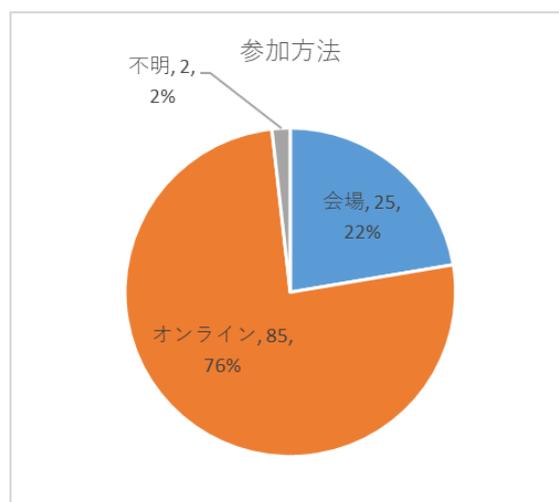
ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2022 アンケート結果概要

2023 年 1 月
ESD 活動支援センター

2022 年 12 月 10 日に開催した ESD 「推進ネットワーク全国フォーラム 2022」には、238 人(会場 74 人、オンライン 164 人)が参加した。参加者に対してウェブサイト上でアンケートを実施し(イベント終了直後に依頼したほか、後日メールを送信)、112 人から回答が得られた。本報告は、参加者アンケート結果の概要を示すものである。

◎参加方法

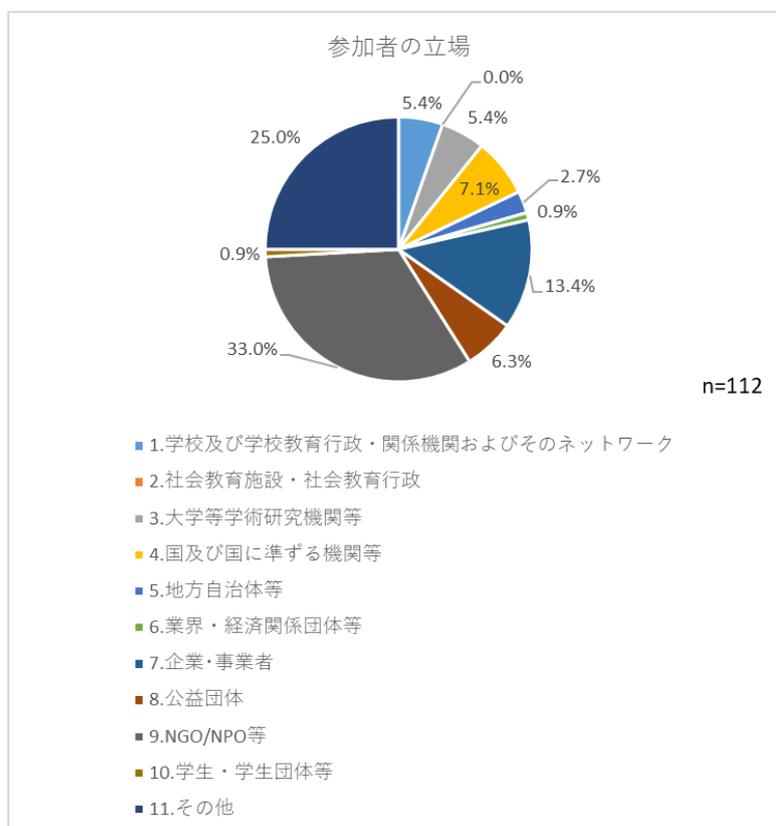
アンケート回答者の参加方法別の内訳は右の通りである。



1. 参加者の属性

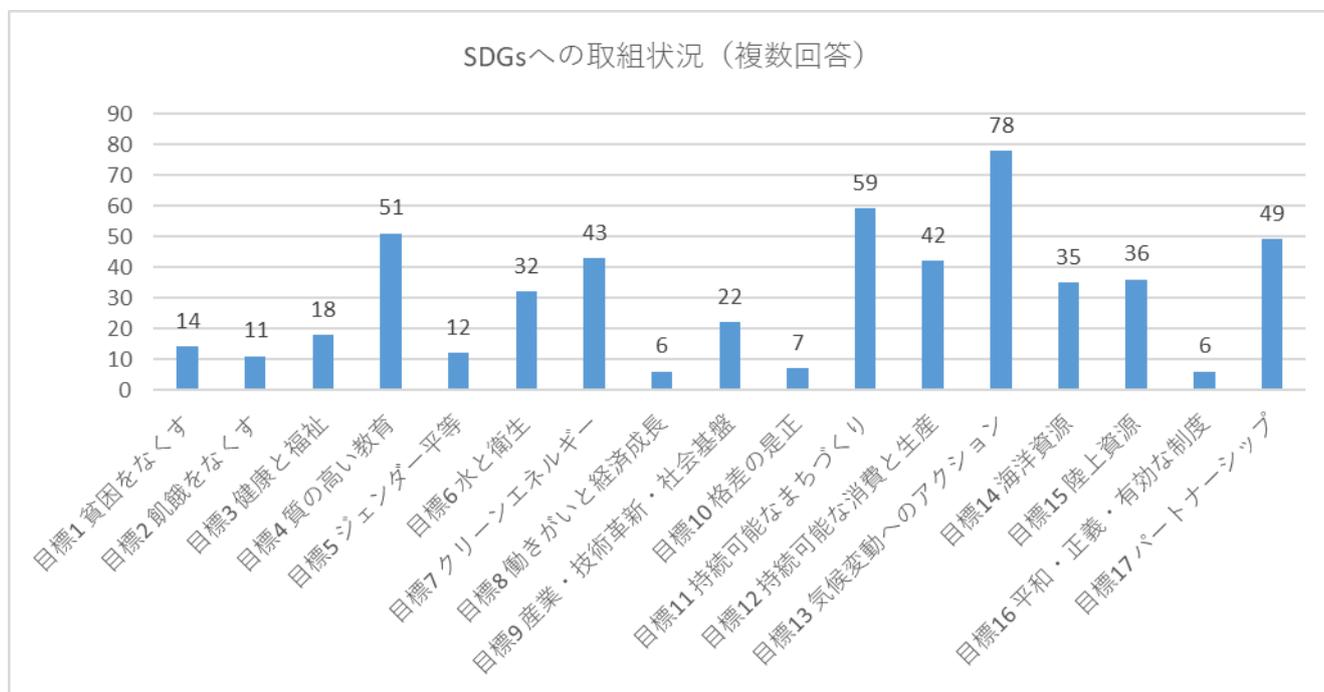
(1) 参加者の立場

参加者としては、NGO/NPO 等 (33.0%) が最も多く、企業・事業者 (13.4%) が続いている。多様な主体からの参加が得られている。



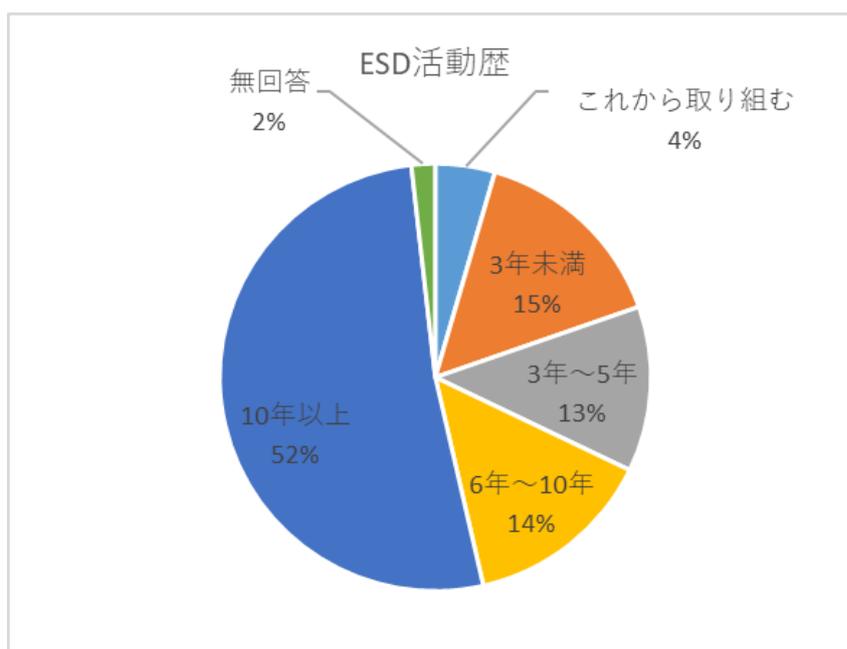
(2) SDGs への取組状況

SDGs13（気候変動）が最も多く、SDGs11（まちづくり）、SDGs4（教育）が続いている。SDGs17（パートナーシップ）SDGs7（エネルギー）、SDGs12（持続可能な消費・生産）などへの取り組みも多い。



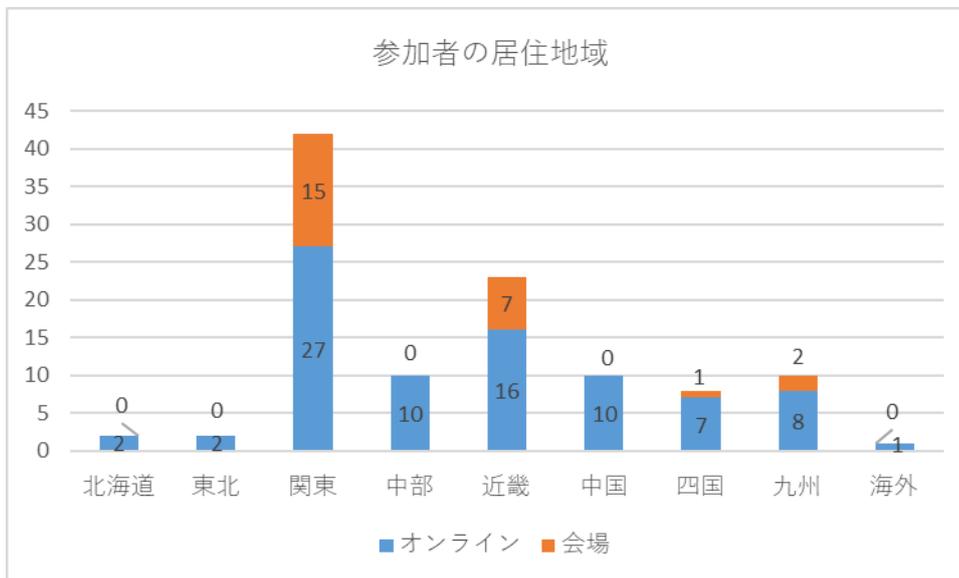
(3) ESDに係る活動歴（経験年数）

10年以上 ESD に関する活動をしている参加者が過半数を占めたが、未経験、あるいは経験の浅い方々も一定程度参加している。



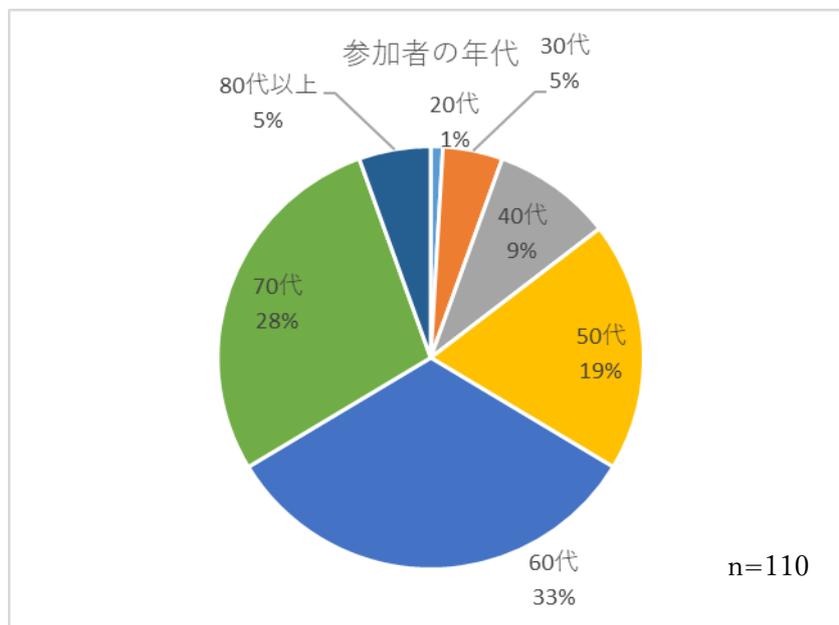
(4) 参加者の地域構成

関東以外の地域ではオンライン参加がほとんどだったが、近畿地方からは会場に足を運んでくださった人も多かった。



(5) 参加者の年齢構成

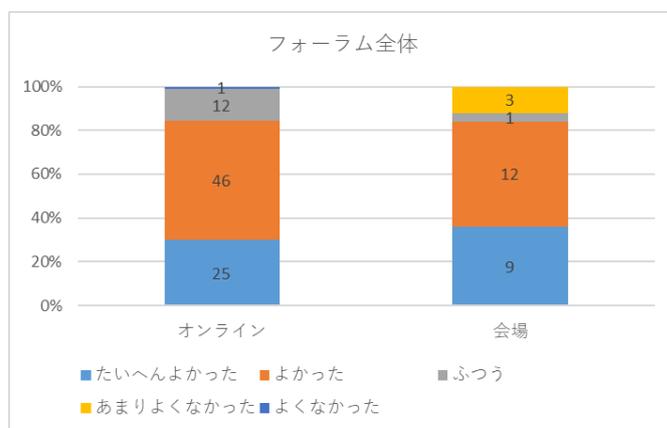
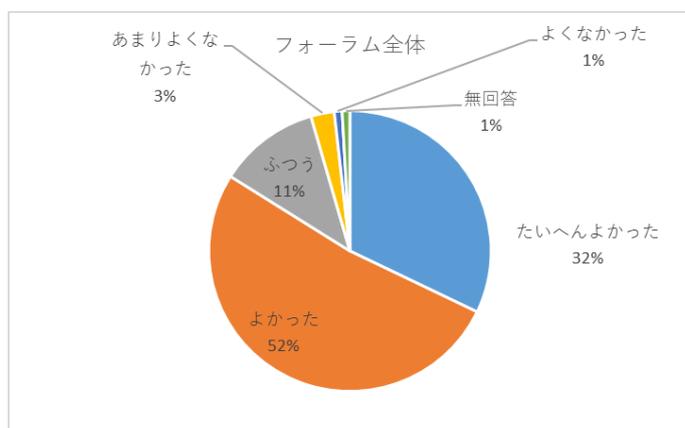
若い世代の参加が極端に少ない。ユース世代の参加を促すのであれば、企画内容から見直す必要があると考えられる。



2. フォーラムに対する評価

(1) 全体評価及びプログラムごとの評価

【フォーラム全体】



全体を通しての意見・感想
<p>正直主管部門の成果報告会のように感じた。このように基本的なことは、すでに終えているはずだ。むしろ、推進するためにどうするか議論が欲しかった。総理にしても、もっと国民に強く要請していくべきだ。日本という国は、だらだらやる文化が強すぎる。北欧のように強いリーダーシップで推進してほしい。日本には、江戸幕府からの強い中央集権制度があるはず。今回こそこれを有効に用いるべきである。普段はこれほど必要としない制度であるが。（その他、70代）</p>
<p>地域の取組が関係者の努力とともに伝わってきて、大変刺激があり、勉強になりました。（その他、70代）</p>
<p>気候変動教育という〇〇教育がまた一つ増えたという印象で、地域事例紹介も地域の課題やその解決に向けた学習活動になっておらず、机上の空論で終わっているように思えた。</p> <p>会場とのやりとりも Slido といったツールを使った工夫は一部あったが、まずは、近くの人と話す時間などをする工夫も入れたほうが良いと感じた。</p> <p>時間管理も甘く、様々想定して時間調整をする必要があると思う。</p> <p>集合型で実施する以上、インプットメインのものを実施してしまうのは、非常に時間がかからないと思う。これからの教育を語る上で、集合型で実施するならばインプットとアウトプットの時間的なバランスは同程度にするべきで、前時代的な報告や発表の考え方を早く見直すべきだと強く感じた。（学校、40代） ※「あまりよくなかった」と回答</p>
<p>オンラインの都合もあったと思いますが、旧来のありがたくお話を伺う的な発表会であったと感じました。テーマごとの分科会を設けた参加型の方が話し合いが深まります。大会の運営方法の改善を希望します。（学校、60代）</p>
<p>事例発表はもう少し短くて良いので、最後の総括をもっと聞きたかった。（皆さん時間がないということでだいぶ省略していたと思うので）（公益団体、30代）</p>
<p>オンラインによる ZOOM での参加であったので、やむをえないのであるが、チャットの活用が十分にできなかった。</p>

<p>しかし、全国ネットワークでの ESD 教育の更なるスキルアップと展開が幼少期からアダルトまで継続的に学び実践していくことがきっとボトムアップになると考えている。(公益団体、30代)</p>
<p>ESD と全国地球温暖化防止活動推進センターとの 2 重構造となっているような気がします。どちらも環境省の管轄と思いますが、何とか一元化して更に強力なパワーを発揮できないものでしょうか。その点で滋賀県の報告には注目しました。(NPO、80代)</p>
<p>教員の「価値はわかるが大変だ」で終わるのではなく「やってよかった」にする実践がほしい。フロントランナーが苦しんでいる。(学校、60代)</p>
<p>全体的に良かったと思います。しかし、ESD と SDGs の目的が大きく内容が、具体性に欠けるかと思います。テーマを絞り、定性内容から定量的かつ実行水平展開可能性のある方が良いかと思いました。(その他、70代)</p>
<p>今回は気候変動教育に焦点があたったが、教育者や環境アドバイザーの気候変動に関する知識レベルには差がある。気候変動教育の手引き・ガイドライン等を充実し、教育する側のレベルをそろえる必要があるのではないか？環境省の人材認定事業などで、そういった取り組みを期待したい。また、万一手引きやガイドラインがあるのであれば、ぜひお示しいただきたい。(NPO、60代)</p>
<p>最後の全体統括（4人でお話されていた部分）をもっと深く聞きたかったです。また、ポスターセッションのポスターの中身を事後にもオンラインで参加の皆様にも共有するためにも、一定期間オンライン上で見られるとよいと思います。(国、40代)</p>
<p>気候変動教育に特化していたので、もう少し幅広いテーマも入れてほしかった。(NPO、60代)</p>
<p>ハイブリッド開催になったために分科会がなくなり、意見交換、議論の場がなくなり、一方的に発表を聞くスタイルとなってしまったので残念だった。時間が全体的に時間が短くなったこともあり、全体総括の時間が短く、消化不良な感じだった。せつかく年に一度の ESD の関係者が一堂に会す場なので、もっと活発に参加したいと思えるような企画を企画していただきたいと思った。(NPO、40代) ※「あまりよくなかった」と回答</p>
<p>気候変動を切り口に、間接的要因に繋がる他の SDGs 項目を理解し、17項目は今日、気候変動の課題に繋がっていることを再認識させる考えで実践している。 SDGs が学校教育が今日浸透していると思うが、教員が技術的な知識・経験が乏しいと耳にします。企業側の声を授業で取り組むべき。先日のエコプロ 2022 でもそうした企業の取組みを熱心に聴いてる姿が見られた。(NPO、60代)</p>
<p>気候変動を切り口にした環境学習を当財団全体でも実践しているが、大きくその方針を明確にされたことが素晴らしいと思いました。(公益団体、50代)</p>
<p>「気候変動や脱炭素をテーマにした地域事例」の事例が、あまり地域特性など考慮されておらず、生徒たちが「自分ごと化」しづらい事例だったと感じました。滋賀の高校の事例の結果、生徒がどれぐらい風呂敷を使うようになったか、お聞きしたいと思いました。(国、50代)</p>
<p>多くの参考となる事例や、基調講演など今後の活動へ十分参考とさせていただきたい内容が盛り沢山で、久しぶりに満足いくフォーラムでした。また、以前より自身が推進している「気候変動対策をESD活動で推進」が今回のテーマ「気候変動を切り口としたESD」でのフォーラム内容</p>

を活かせる活動へと、心新たに新たなアイデアや、活動のエネルギーを頂きました。
活動を介して以前、かかわった方々の登壇など、大変親しみやすかったせいもあると思います。
今後も、このようなフォーラムにぜひ参加させていただきたいと思います。(その他、60代)

ESD 教育拡大に伴い、支援元が増えたことをよいことのように言われていますが、私たちには、その恩恵がありません、ある大手企業から講師依頼を受けましたが、「ボランティアとして活動してほしい」との要望に対し、交通費も機材運送費も、当然謝金もなく、すべてを丸投げして、自分たちの成果にしようとしています。ボランティアは、全部持ち出しではないことを理解してもらって欲しいです。

また、これらの資金提供をお願いしたいです。(NPO、60代)

各地の特色ある事例を具体的に知ることができた。セッション2では、うまくいかなかったこと・苦勞したところ等のエピソードをもう少し掘り下げて聞きたかった。(NPO、40代)

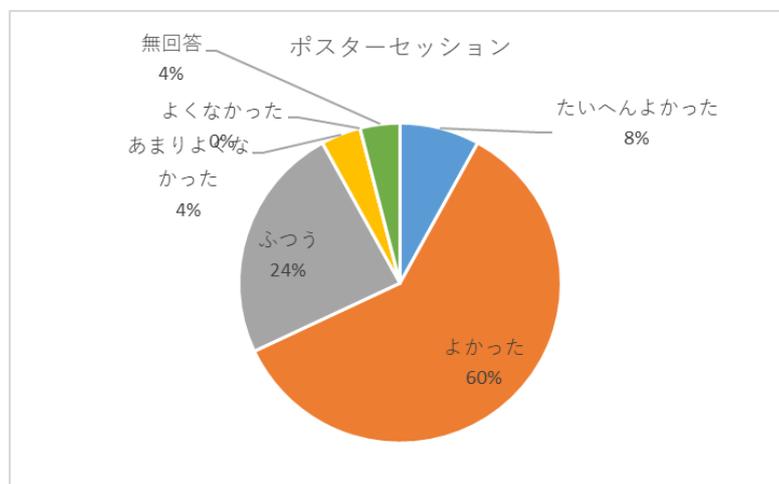
企業での環境教育はSDGsがもっぱら主流になっていて、学校ではESDをもっぱら押している個所が多い。私はよく岐阜県内の小学校に県の環境推進員や地球温暖化防止活動推進員として出前講座に出かけますが、ESDとSDGsは関連性があるよと教えています。例えばESDの教育はSDGsの目標4に関連性がある。このように学校での出前講座では常にESDとSDGsの比較しながら講座を行っています。(NPO、70代)

国が積極的に取り組み、各自治体での取り組みを磨かないと進まない。組長によっては、真逆の地域開発を進めているが、その助成金等は国からであり、最終形までの点検・検証がないことが問題。また、地方財政は負債が大きい点から、しっかりと検証していただきたい。環境や持続可能な社会づくり等の方に資金を回せない状況は問題である。(NPO、70代)

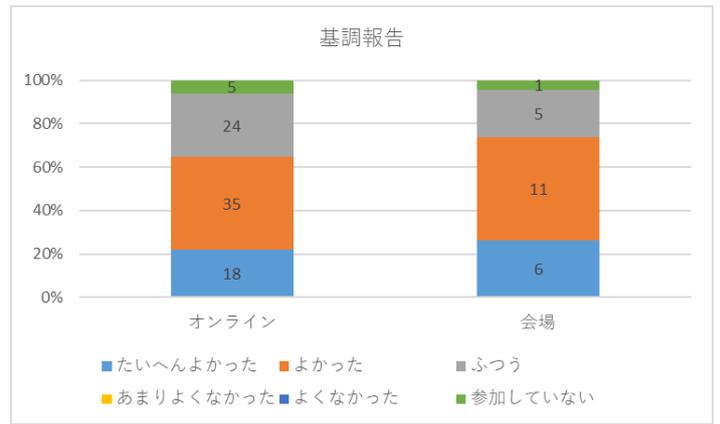
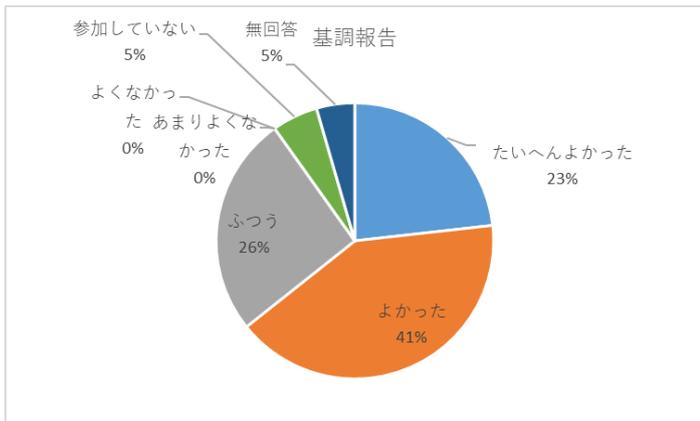
地域に根差している伝統的な組織体(子ども会、PTA、講、人権擁護団体、民生・児童委員、社会福祉協議会等)は独自のネットワークを有して、組織体を再構築し始めています。地域共生で動かないと田舎は存続できないという危機意識をすでに持って動き始めています。このネットワークとESDがつながれば再構築して持続可能な社会へ進むと思いました。気候変動を切り口としたテーマの中身が見えにくいということを特に実感いたしました。(その他、60代)

総論的な議論でなく、具体的なESG経営やSDGs対応への教育・啓蒙活動や行政支援の在り方にフォーカス議論できたらもっとよかった。(企業、60代)

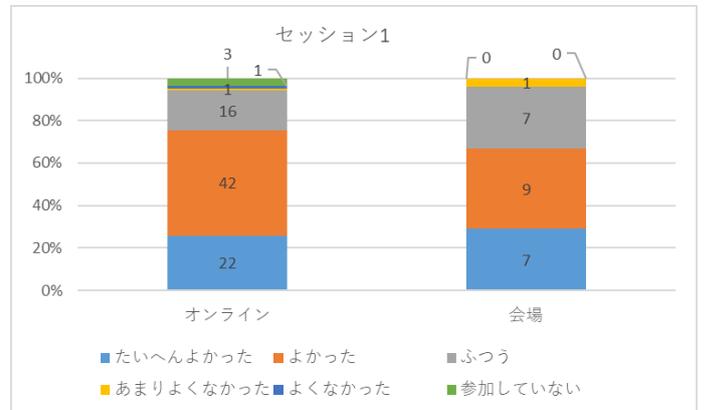
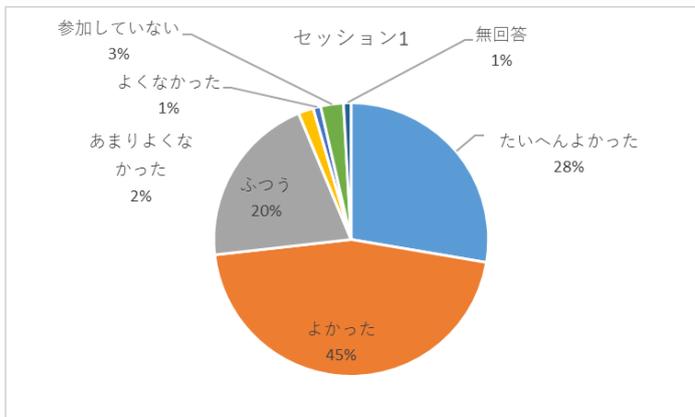
【ポスターセッション】



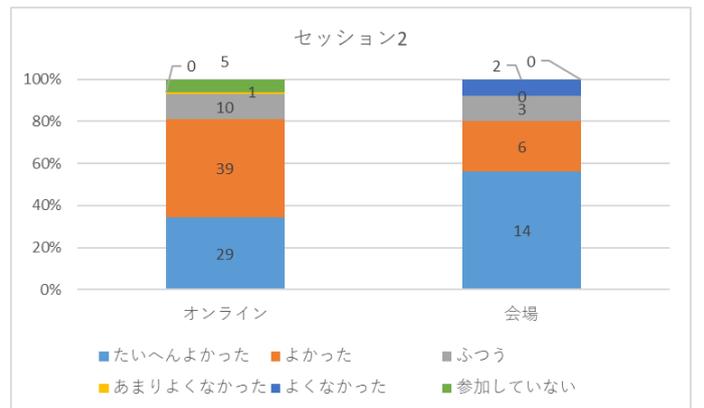
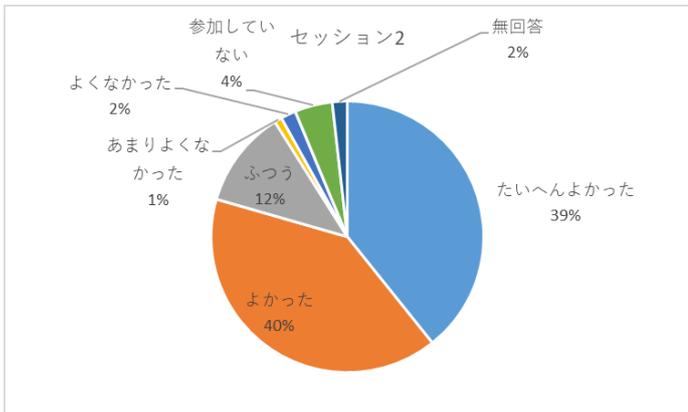
【基調報告】



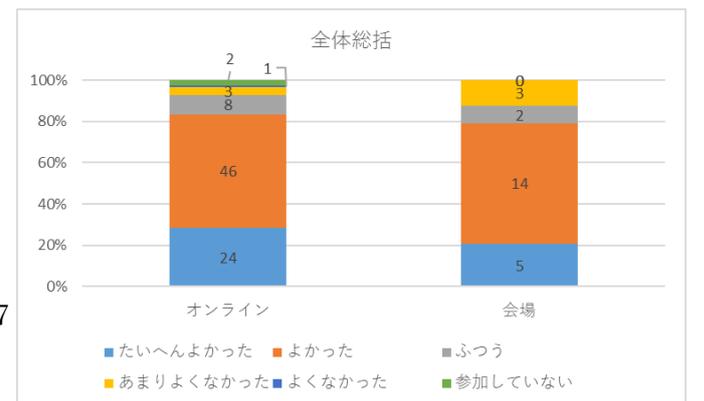
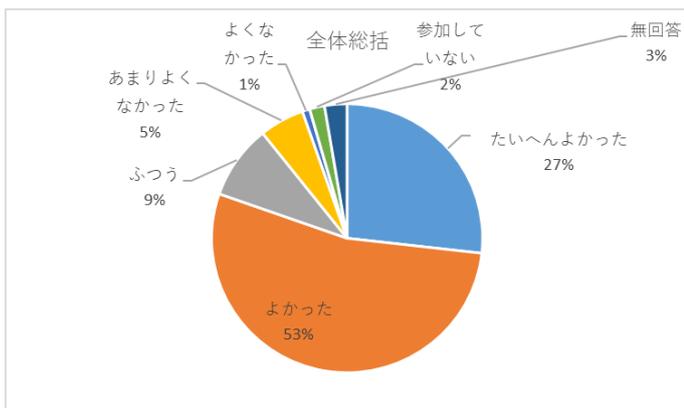
【セッション1】



【セッション2】



【全体総括】

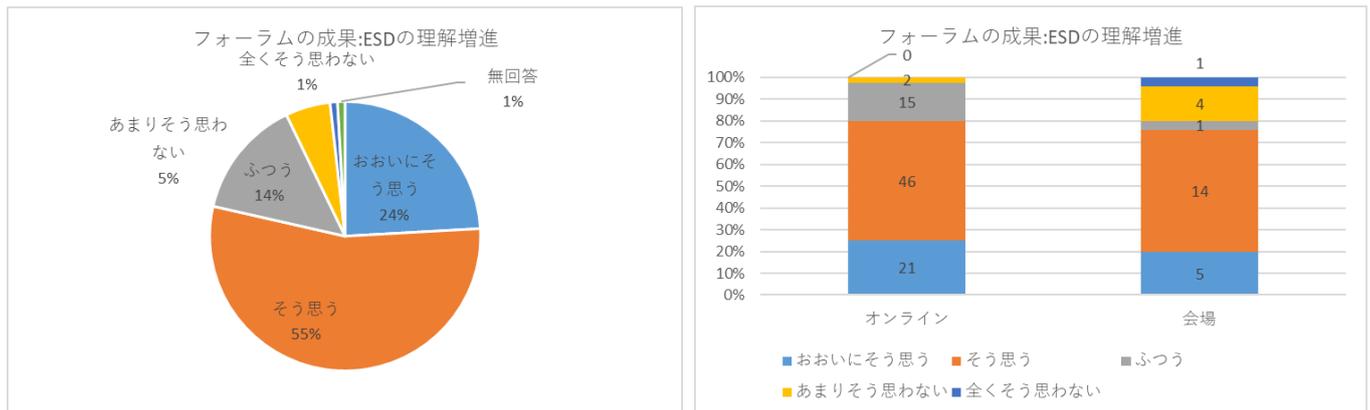


オンライン視聴と会場参加で評価が極端に異なることはなく、オンラインでも不自由はなかったと考えられる。逆に、ポスターセッションを除き参加者同士が直接コミュニケーションする時間がなかったため、不満に感じた会場参加者もいたようである。

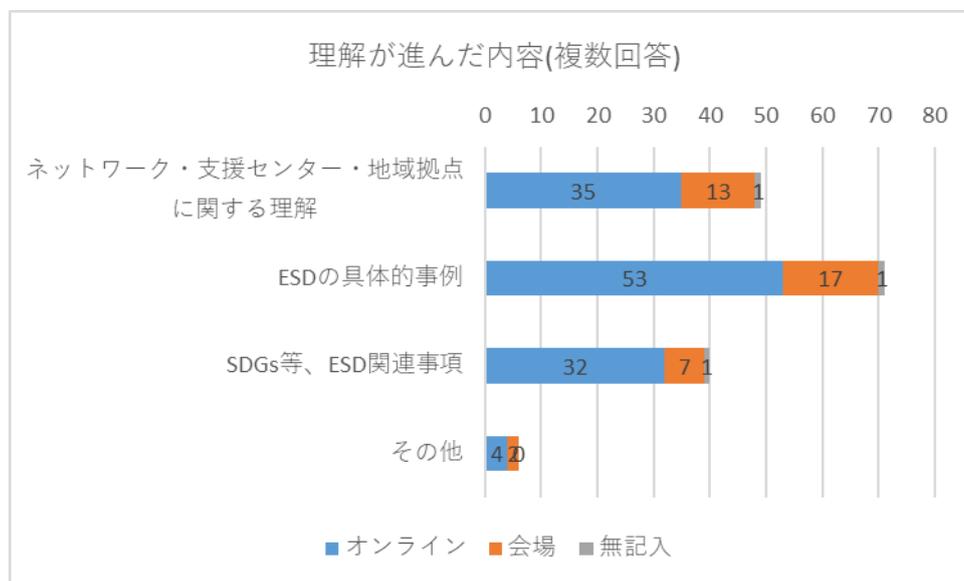
(2) フォーラムに参加して得られたもの

① フォーラムによる SDGs、ESD に対する理解の増進

フォーラム参加の成果として、多くの参加者が SDGs や ESD に関する理解が深まったと評価している（「おおいにそう思う」と「そう思う」を合わせて 79%。）。



具体的には、ESD の事例を学べたことが高く評価されている。



「その他」に記載された主な意見

個人の変革→社会の変革という流れで、社会の変革の牽引役を育てることを強調されていました。かつての学力向上においても、一部のエリートを育てることとその他大勢を適度に育てるような風潮がありましたが、それと同じものを感じました。選抜してエージェンシーを育てるので

はなく、多くの市民を育てることで、ひとびとの「つながり」の中からエージェンシーが表れてくるのではと思います。(大学、60代)

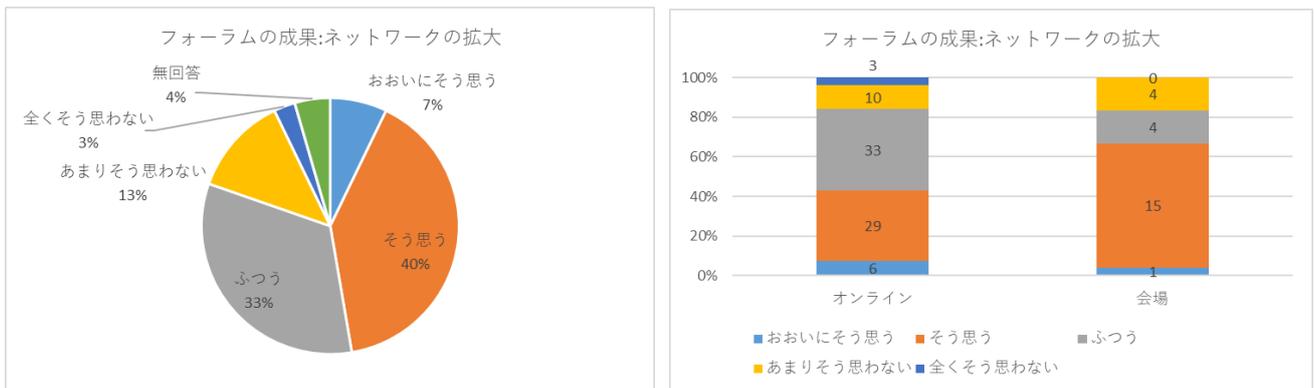
我が国は北は北海道から南は沖縄および数多くの島嶼そして70%近い山野と豊富な海岸線と四季を持つ稀有な列島であることに改めて生物多様性の宝庫と考えている。

この日本から具体的なESD実践を各年齢層に展開することによりSDGs達成2030およびカーボンニュートラル2050への着実な道筋とモデルを構築し世界貢献できる人材育成をより一層推進したい。(NPO、70代)

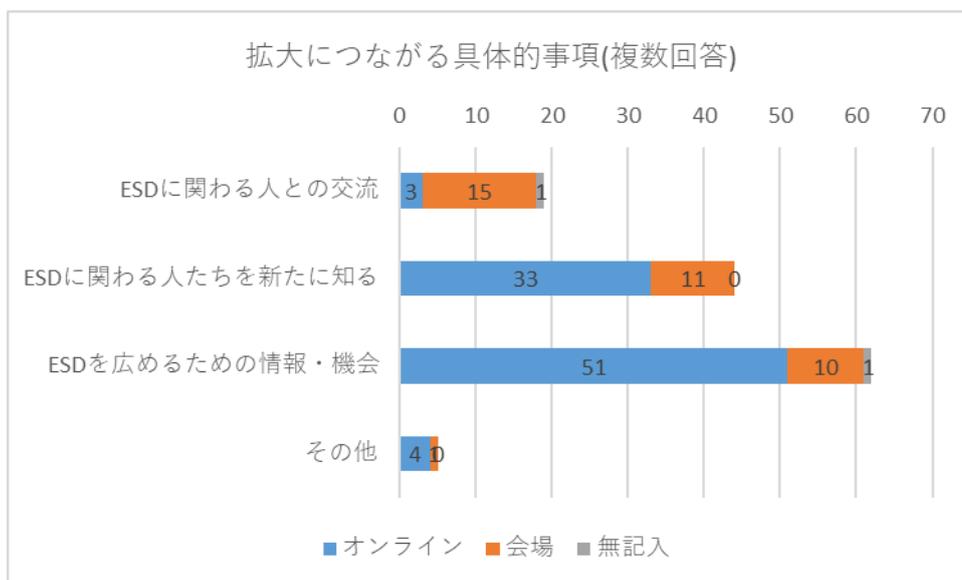
今回のようにテーマを気候変動に絞っていただいたおかげで、活動指針となる方向性が明確になりました。来年度は、食品ロスで進めようと思っていましたが、やはり気候変動ですかね。今日のセッションに気象庁の方にもご参加いただき良かったです。(NPO、60代)

② ESD ネットワークの拡大

会場参加では6割以上が肯定的な回答だった一方、オンラインでは半数に満たなかった。開会前に実施したポスターセッションが交流を深めるよい機会になっていたと考えられる。



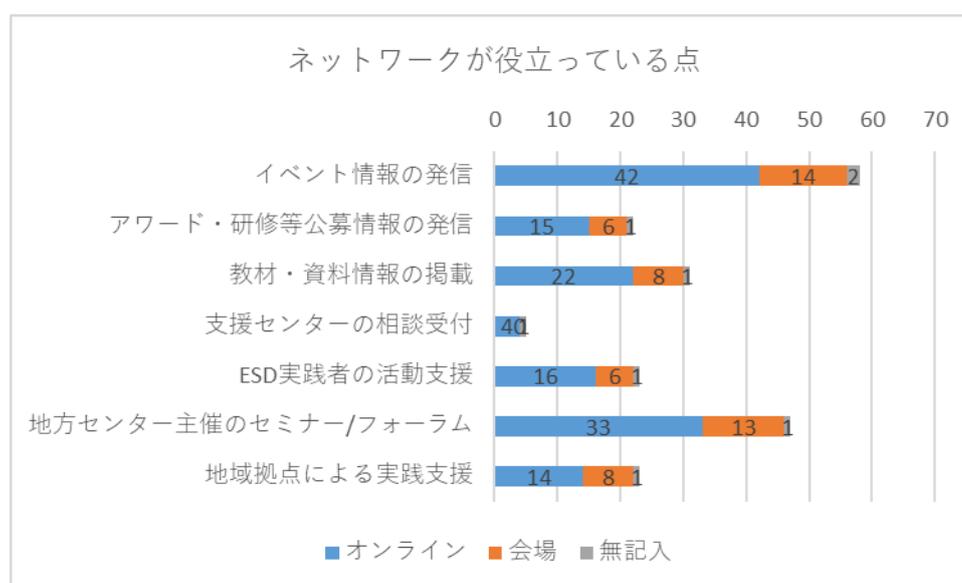
具体的には、ESDを広める情報・機会が得られたという回答が最も多かったが、ESDに取り組む組織・人材を新たに知ることができたという意見も多く寄せられた。



「その他」に記載された主な意見
成長の限界が打ち出されたころから意識が変わってきたので、今の取り組みが私のそれに合わない。(その他、70代)
交流がなかったため。(学生、70代)

3. ESD 推進ネットワークについて

ネットワークがどのような点で役立っているか聞いたところ、情報発信や地方センターが開催するイベントという回答が多かった。情報発信や知見の提供という部分ではネットワークの有用性が認知されつつある。



役立った相談の内容
活動事例の紹介 (その他、70代)
『EPO ちゅうごく』に置いてあるリーフレットやチラシ (その他、50代)

役立った支援の内容 (抜粋)
活動されている方の生の声 (その他、70代)
ESDに関する環境省の考え方が、文科省寄りになってきているところ。実際には、まだ、溝はありそうに思いますが、本日の両者のご挨拶から始まり、概要説明をお聞きする限りは、ベクトルの違いはあるかもしれないが、方向性は同じだと思った。(NPO、60代)
ESD活動支援センターHPによる、各地のESD研修会、研究会、イベントの発信 (NPO、70代)
地域づくり,連携は必要。まちづくりの中で少しづつ進めているが、情報不足の方が多く、大変なので参考になるところは実践する。(NPO、70代)

◎ESD 活動支援センターが実施／強化すべき活動（抜粋）

<p>今年から始まった高校生の金融教育のように、サスティナビリティ教育の義務化への働きかけを。(NPO、50代)</p>
<p>総理のモチベーションを高めること、推進大臣を設けること、マスタープランを策定すること、推進状況を国民に伝えること などを願います。</p> <p>省庁個別で進めるのではなく、全体を統制する管理をしてほしい。先般、食の ESD について大学教授のセミナーを聞いた。やるが多岐に渡り大変だが、限られた省庁の管轄になっているようだ。もっと省庁のヨコ連携を図り、合理的に進めるべきと考える。切に願います。(その他、70代)</p>
<p>ESD に取り組む教員・NPO などの実践者が実践発表できる場がほしいと思います。少ないので。(大学、60代)</p>
<p>皆様それぞれの活動範囲で多くの取組を実践されていますが、今後は世代別（小学生、中学生、高校生、大学生、大人向け）の ESD・気候変動教育を推進してほしい。(国、50代)</p>
<p>気候変動教育はすでに自治体の環境部局で設置している官民連携組織などで取り組みが進められているが、学校現場で授業として取り組むにはハードルが高いままとなっている。ESD 活動支援センターが当該エリア全部を支援することは現実には難しい。各県・各自治体でできる学校のドアを開ける手引き、しくみを提案していただきたい。(NPO、70代)</p>
<p>さらに銀行（とくに地方銀行）や大企業を巻き込んだ ESD 活動支援を進めて頂ければと存じ上げます。(企業、50代)</p>
<p>ESD は幅の広さや奥の深さ、刻々と変わる環境・気候変動等大変漠として捉えにくい。</p> <p>気候変動教育にしてもガイドラインがあるわけではない。小学校での派遣講師をしている自分にとって、わかりやすい分野、得意な分野を ESD として教えているが、大事なポイントを外している可能性もある。まず ESD を進める際の基盤的知識を関係者に示して頂きたい。(NPO、60代)</p>
<p>企業が EMS の中で推進している環境活動の内容が機密保持等の制約で全く地域社会に伝わっていないので第三者的な立場で情報発信をして頂きたい。(その他、60代)</p>
<p>コロナはまだ続くと思われるので、オンラインの事例発表会を開催して欲しい。(NPO、70代)</p>
<p>推進員の全体的なレベルアップのために推進員センターとの連携強化。(その他、70代)</p>
<p>何より周知活動のさらなる徹底が必要だと感じます。現在の日本は、まだまだ二極化しており「知らない人は驚くほど知らない」現実に出会います。教育の現場にも例外なく言えます（私自身、元教員でしたから）。熱心にやっておられる人や組織はどんどん増えています、しかし、偏っています。だから、何より周知活動の強化が必要ではないでしょうか。(その他、60代)</p>
<p>ESD 支援センターも、専門家ばかりの集団ではないためでしょうか、市民などからの活動への問い合わせや相談などには、ある程度、情報提供先ぐらいはリサーチをして、回答いただくなど活動推進へ役立つ支援ができるよう、スタッフの人材育成はしてほしい。また、時々でも専門家の配置も切望します。(その他、60代)</p>

学校や自治体に呼び掛けて、ESD 拠点をもっと活用していただきたい。私たちは、自分で自分たちの活動域を模索しながらの活動しかできていないので、まったく、進まない。今、行っている学校なども無料だから呼んでくださっていますが、有料となると呼んでもらえない。(NPO、60代)
もっと学校現場に機関の存在を知らせてほしい。ESD を大切だ、興味がある教員はおおいが実際に、実践するとなると、知識不足だったり、子どもたちにどんな学びをしていけばよいのかと考え、つまってしまいます。是非、発信してほしいです。(学校、30代)
地域に根差している伝統的な組織体(子ども会、PTA、講、人権擁護団体、民生・児童委員、社会福祉協議会等)との関係です。(その他、60代)
地方と言っても町レベル内では聞かないので自治体の関係機関の関与の強化はできないものでしょうか?(その他、70代)
他省庁の取り組む ESD の横ぐしを指すような取り組みを強化すると良いと考えます。森林 ESD や食育 ESD など。(NPO、60代)
活動家へのメールマガジンの発行、学種教材の発行、気候変動や今問題になっているマイクロプラスチックや食品ロスに対する DVD の販売や貸出 (NPO、70代)

◎気候変動教育のニーズ・課題・事例等 (抜粋)

露木しいなさんが発信しているインスタの動画が、若者のアテンション促進に有効と感じる。(NPO、50代)
林野庁の「木づかい運動」を推進する取り組みは、ESD・気候変動教育だと思います。(大学、60代)
EA21 認証取得事業者の取組についての事例発表。(その他、70代)
荒廃しつつある耕作放棄地への、バイオマス燃料栽培の実証実験の実施。(その他、70代)
個人的には、目標 13 の「気候変動」を中心に、ESD を政策推進なされることに強い違和感があります。日本国の SDGs ランキングは、明確に公表されており、どこの SDGs が劣るのかも良くご理解の筈です。政治的に採択なされたソフトロー (SDGs) であれば、行政責任として未来を担う子供たちにも大人の都合で偏った環境教育政策には反対です。 総務省は『SDGs17 ゴール・169 ターゲット・232 指標』を公表しています。 「SDGs ウォッシュ」の様な行為は、未来に担う子供たちに 17 つのゴールだけで環境教育させるのではなく、世界から見て、日本国が改善すべき、我が国政府がターゲットや指標としている 169 のどのターゲットや 232 のどの指標を改善すべきなのか、真剣に議論・環境教育すべきと考えます。(企業、50代)
自分の専門分野でいうと海や魚と気候変動の関係性、緩和と適応の事例など自分がインターネットや自分の足で歩いて調査する必要がある。一方それが、ESD・気候変動教育として必要十分かの判断ができない。不足している項目 (特に防災面) がわかるようなガイダンスの充実を期待する。(NPO、60代)

<p>気候変動教育のニーズ・・・県はともかく、市、町など地方自治体は、気候変動教育を積極的にやろうとするところは少ないと感じている。自治体としての「課題」ではないからかな・・・？ (NPO、70代)</p>
<p>開発教育の参加型ワークショップとソーシャルアクション(NPO、60代)</p>
<p>「気候変動教育」は、これまで長年に渡り、温暖化防止センターで実施してきているものと重複している部分も多いと思いますが、温暖化防止センターで実施してきた事業で、何が成果があって、何がダメだったか、検証する必要があると思います。その上で、ESDと気候変動教育を融合させた内容の開発が必要だと思います。(国、50代)</p>
<p>各地域の2050年ゼロニュートラルの実現と有効な適応策を実行していくための総合的な活動が必要であり、1)自治体と連携してそれらの計画の策定、2)地域内の産・学・民・官への具体的な対策の提案、3)産・学・民・官の関係者の意識変容と行動変容を実現させるための講演会や個別訪問による意見交換 等々 (その他、70代)</p>
<p>自分自身、元高校教諭でしたので、高等学校の現場の大変さはよく知っています。こういった教育活動は躰け指導と同時期にやらないとならないというのが、ナチュラルリストとしての持論です。ただ、言うのは簡単ですが、実践はかなり難しいことも知っているつもりです。今後の日本をしょって立つ若い人達の奮闘に期待しております。(その他、60代)</p>
<p>学習指導要領に気候変動の明確な位置づけがなく、個々の先生方の実験的な取組に委ねられている点が普及上の大きな課題ではないか (大学、50代)</p>
<p>各地球温暖化対策地域協議会や、温暖化の地域センターは、地域特色を生かしたESD活動実践情報がある程度把握されている。出前環境講座としてアクティブラーニングを主体とした体験型学習を実施されているところも多いが、逆に実施したくても、なかなか学校などからの要望がこない。 学校現場や社会教育現場でもニーズがあるところは多いが、ESD提供してくれる人や機関、団体の情報があまりなく、需要と供給のマッチングが大きな課題。(その他、60代)</p>
<p>「地域づくり協議会」などから課題として「防災」が項目としてあがるが、防災訓練の必要性和消防団組織の弱体化で終わる。そこから社会教育、学校教育が連携したESDの取組につなげていければと思う。(NPO、70代)</p>
<p>今年、中学校3年生を対象に総合的な学習の時間を使い、環境と防災をテーマに学習を行いました。なかなか紹介する機関がないため、ここで紹介をさせてください。 福岡市環境局や福岡市民防災センターの方にも協力していただきながら、福岡市民がどのようにすれば自分ごととして気候変動や防災をじぶんごととして捉えることができるか…といったプロジェクトを立ち上げました。生徒たちは、動画を作成したり、ゲームを作成したグループは、校内や校区の小学校に発信をしたりして取り組み、リーフレットを作成したグループは地域の公民館に置いたりもしました。 実際に生徒が作成したゲームです。 https://saigaijapan.netlify.app/checks.html (防災) https://prgame.netlify.app/play (温暖化)</p>

<p>どうかして、福岡市民のみなさんに関心をもってもらいたい、自分ごととしてとらえてほしい、動かしたい…そんな生徒の想いがあらわれて、とてもいい学習になりました。</p> <p>生徒たちからも、高校生・大人になっても、自分ごととしてまずは自分たちで考えていきたいといった内容が最後にできました。(学校、30代)</p>
<p>私たちは「気候変動そのものだけ」を伝えて理解されることをせずに、目に見える課題への気づきから、行動に繋げていくことを「基礎教育」として考えていっています。SDGsの13番に続く、14番、15番などの具体課題の解決を進めて、その結果13番につながっているというストーリーを授業プログラムとしています。(NPO、50代)</p>
<p>環境教育のテキストの1ページ目が以前は産業革命前から2100年までの気温上昇のグラフだったが、最近では気象災害の実状になってきている。気候災害への防災施策が気候変動適応策になっているようにも思える。いくつかのティッピングポイントを超えてしまった現在、ひとりひとりが何をすべきか、考えるべきか、カリキュラムの改変を先導していただきたい。(企業、60代)</p>
<p>環境省、文科省、経済産業、農林水産省等の各省の連携で教材を一本化すれば、良い教材ができる可能性がある。(その他、70代)</p>
<p>0歳～10歳の人たち、11歳から18歳の人たち、20歳～29歳の人たち、30歳から49歳の人たちが遭遇する環境リスクへの対応を予測し、必要な対策を講じることが必要であると思います。(企業、60代)</p>

◎ESD 全般への意見 (抜粋)

<p>ESD・平和教育も喫緊の課題だと思います。(大学、60代)</p>
<p>学校現場はとくにかく忙しい。教員にも余裕がない。</p> <p>普段の単元の中で何時間か枠をとって特別講師のような形で学校に入り体験を伴った気候変動や地球的課題に対する授業ができたならと学校と連携を図ろうと思っている。(NPO、30代)</p>
<ol style="list-style-type: none"> ESDは幼少期から段階的かつ継続的に一生を通じて実践するような息の長い人材育成プログラムとして構築するための戦略作りが不可欠。 某政治家等が口を開ければ二言目に「資源の無い日本」という発言による国民への負の刷り込みでコントロールされた親世代の次世代育成を危惧している。 グローバルな世界の地球人と共に持続可能な地球環境をどのように再構築していくのかをオンライン開催や交流プログラム等での関係性をもつ機会の提供。(NPO、70代)
<p>「ESD」は単なる「教育」だと感じ、そう受け止めていました。</p> <p>「人の心を動かす」手だてについて考えておられ、実践されていることに敬意。自分も、もっと近づき、勉強させていただきます。(NPO、70代)</p>
<p>幼稚園からの継続教育が必要と考える。日本は気候変動に対して危機感が薄い。(NPO、70代)</p>
<p>コロナが微妙な中での開催、お疲れさまでした。オンラインが発達すると、地方の方はやはりオンライン参加になってしまうので、「遠くからわざわざ参加したい」という魅力的な内容にしていかなければなりません。(国、50代)</p>

せつかく文科省が関わっているのなら、国語、算数、英語、社会科、理科、技術家庭科、保健体育など、各教科で様々な観点から気候変動に関するトピックを教科書の中に取り込み、それが全体として体系的・複合的な学習体系になるよう、気候変動教育を学校教育で義務付けている諸外国の例などに倣って我が国の学習指導要領への位置づけの在り方を検討して欲しい。(大学、50代)

ESD 推進のための人材不足は否めません。人材育成の教育も不可欠です。
また、ネットワーク構築されているのですが、実際どう動いているのか、どのように参加し、活動推進へつなげていくのかあまり姿が見えてこない。名前だけかと思っていましたが、全国ではいろいろなところで協働推進されている素晴らしい事例があることがわかり、活動の地域差はありますが、本日初めてその存在を意識しました。(辛口ですみません。今後に期待します。)(その他、60代)

ユネスコスクールと ACCU の直接のやり取りが行われているが、そのみで点と点のやり取りになっているため、担当者が変わると消滅の危機に陥る。市町村の教委を通しての連絡になっているが、市町村教委は未だ ESD についての動きはよくないと感じている。
地域の ESD 推進団体が、そこ(ユネスコスクール・ACCU)とどう情報共有を行って地域の ESD を推進していくかなど、企業との連携も含め、ネットワーク構築の必要性を感じている。(NPO、70代)

ISO14000 の認証審査で、某学校の幼稚園の園長先生とお話をしました。最近学校を立て直しました。照明は LED で、人感スイッチが至る所にあります。水栓は自動です。年間空調の教室です。ある親御さんが「幼稚園では、部屋を出るとき電気を消すことや手を洗ったら水を止めること教えてくださいよ、窓を開けて外の空気を入れることを・・・」言われました。子供たちに「しつけ」することはむずかしいですね。『どうして今こんな設備にしているかを、話してあげましょう』と答えましたが、教育・生活様式の変革を身にしみて感じています。(NPO、80代)

どの程度、理解できたかは、数年後でなければわからないことが多い。
数年後に、同じような活動や思い出などを話してくれたり、連絡された時に、励みにも薬になることも謙虚に受け入れ、会員と共有する時が楽しい時間となっている。(NPO、70代)

ESD を通じて、地球温暖化対策の事例が具体性に乏しく水平展開が難しく感じました。(その他、70代)

正直言って今回初めて ESD 推進ネットワークの存在を知りました。周知方法の工夫に不足している事があるように思いました。(その他、70代)

以上